

# 武蔵関駅周辺の水・みどり、景観について

第8回推進会では、武蔵関駅周辺の水とみどり・景観について検討し、以下のような意見がありました。

## 水とみどり・景観の課題に関する意見

### 武蔵関駅周辺にみどりが少ない

- 武蔵関公園が近くにあるものの、武蔵関駅周辺にはみどりが少ない

### 石神井川の水とみどりの活用

- 鉄道敷や駅の近くに河川がある立地を活かすべき

### 商店街通りの街並みの調和

- 商店街通りでは、建物の高さや色彩などをそろえていくべき

## 水とみどり・景観の方向性に関する意見

### 石神井川沿いの整備

- 河川改修事業にあわせて石神井川沿いを緑化し、周辺のみどりと駅前空間をつなぎ、散策できる環境を整える
- 河川沿いの遊歩道にはまちのシンボルとして親しまれている桜のほか、四季折々に楽しめる樹木を混在させて植樹
- 川を眺められるテラスや川に降りられる場所などの親水空間を整備



遊歩道化の事例  
(石神井川上御成橋付近)

### 補助230号線沿いの整備

- 歩道に中低木を植樹し、緑豊かな道路として整備

### 駅前空間の整備

- 石神井川の水とみどりを踏まえ、まちの顔となる大木等を植樹し、自然素材を生かした、ほっとできる駅前空間の整備

### 高架下の活用

- 鉄道が石神井川と平行して走るところでは鉄道の高架下を利用して、地域の人々が自由に利用できる多目的空間を確保

## 今後の推進会の予定

○今後は平成29年3月に第9回推進会を開催し、推進会の検討のまとめを行う予定です。

○推進会の検討のまとめは、「武蔵関駅周辺地区まちづくりニュース」(3月発行予定)で皆様にお知らせします。



## お問い合わせ先

**【事務局】 練馬区 都市整備部 西部地域まちづくり課**  
電話：5984-1278 (直通) 担当：内藤、山口、橋本、大藤、林

# 武蔵関駅前まちづくりかわら版 第2号

発行：武蔵関駅前まちづくり推進会

練馬区西部地域まちづくり課

平成29年1月



## 武蔵関駅前まちづくり推進会では 駅周辺のまちづくりについて検討しています！

- 武蔵関駅前まちづくり推進会では昨年8月以降3回の会合を開催し、商業環境、水とみどり・景観について検討するほか、武蔵関駅周辺のまち歩きを実施しました。
- 武蔵関駅周辺のまち歩きでは、鉄道立体化、補助230号線の整備、石神井川の河川改修事業等でまちがどう変わるかを、現場を確認しながら石神井川沿いの整備や駅前広場の配置などについて検討しました。
- 「まちづくりかわら版第2号」では、推進会の検討の様子をお知らせします。



まち歩きの様子



## 「武蔵関駅前まちづくり推進会」の これまでの経緯

**第1回推進会：平成27年10月21日(水)**  
●推進会の設立、会則、今後のスケジュール

**第2回推進会：平成27年11月15日(日)**  
●練馬高野台駅、大泉学園駅の見学会

**第3回推進会：平成28年2月16日(火)**  
●武蔵関駅周辺の課題や方向性について

**第4回推進会：平成28年4月19日(火)**  
●武蔵関駅周辺の道路・交通について①

**第5回推進会：平成28年6月21日(火)**  
●武蔵関駅周辺の道路・交通について②

**第6回推進会：平成28年8月23日(火)**  
●武蔵関駅周辺の商業環境について

**第7回推進会：平成28年10月16日(日)**  
●武蔵関駅周辺のまち歩き

**第8回推進会：平成28年12月13日(火)**  
●武蔵関駅周辺の水とみどり・景観について

## 「武蔵関駅前まちづくりかわら版」 の配布範囲



武蔵関駅前まちづくりかわら版の配布範囲

武蔵関駅周辺地区まちづくり構想の範囲

# 武蔵関駅周辺の商業環境について

第6回推進会では、武蔵関駅周辺の商業環境について検討し、以下のような意見がありました。

## 商業環境の課題に関する意見

### 商店街としての連続性の維持

- ・空き店舗の増加、マンション等の増加により商店街の店舗の連続性が欠如

### 個店の魅力の維持・創出

- ・高齢化や新たなライフスタイルを考慮した魅力づくりが必要

### 安全・快適に買物ができる買物空間の整備

- ・電柱や看板類、自転車が歩行の妨げになる

### 買い物時における自転車利用環境の改善

- ・買い物の際に短時間駐輪できる場所が少ない

## 商業環境の方向性に関する意見

### 賑わいのある商店街通りの街並みの誘導

- ・商店街通りの1階部分を店舗とするなど商業環境と調和した街並みのルールづくり

### 買い物の時における自転車駐車場の確保

- ・高架下、商店街等に自転車駐車場を整備し、買い物時の一時利用を検討

### 商店街通りの買物空間の改善

- ・自動車の交通規制、歩道の確保など歩行者の安全対策を推進
- ・壁面後退等による店先の駐輪スペースの確保
- ・電線の地中化

### 鉄道立体化、補助230号線の整備、石神井川の河川改修事業を活かした駅南北の回遊性の向上

- ・高架下を利用した南北動線の確保、駅南北をつなぐ都市計画道路の整備、石神井川沿いの遊歩道の整備などにより駅南北を楽しく回遊できる環境を整える

### 南北の商店街の連携強化

- ・鉄道立体化により駅南北の行き来をスムーズにし南北の商店街・商店会が連携して、まちの美化やイベントなどの活動を推進

### 鉄道立体化を契機とした駅前への店舗等の集積

- ・高架下等に店舗や行政サービス機能を集積させ、駅利用者の利便性を向上
- ・小規模な店舗を共同化することも検討

# 武蔵関駅周辺のまち歩き

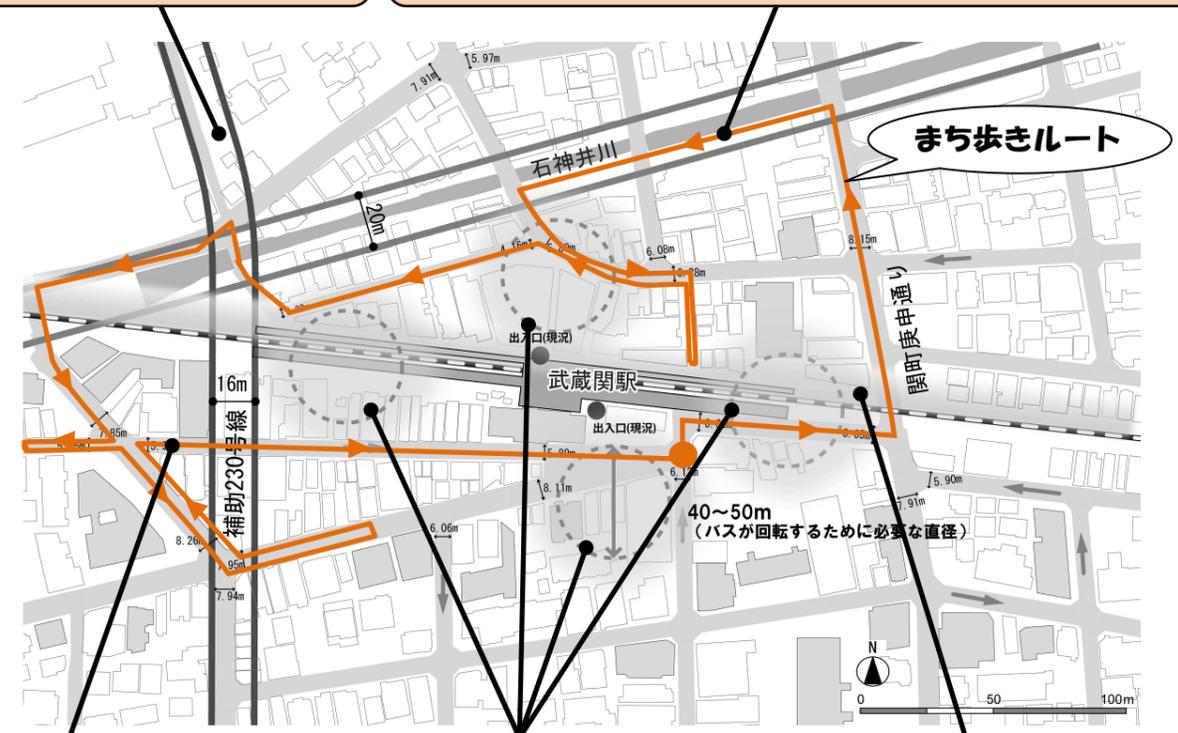
第7回推進会では、武蔵関駅周辺のまち歩きを実施し、以下のような意見がありました。

## 補助230号線の整備

- ・自転車の通行帯を整備し、歩行者の安全性を確保することが必要
- ・電線を地中化して、すっきりした通りにしたい

## 石神井川の河川改修事業

- ・河川沿いに植樹帯を設置し、樹木や花などを植え、河川を利用したみどりのベルトをつくっていききたい



## 商店街通り

- ・放置自転車が多いため、商店街に建物を建てる際は駐輪スペースを確保する等のルールをつくらせるとよい
- ・1階から住宅となっているマンションが増えているので、店舗の連続性を確保するため1階を店舗とする等のルールをつくらせたい

## 駅前広場の整備

- ・地域住民の負担を軽減するため高架下を活用して整備することが望ましい
- ・鉄道の立体化や河川の整備を考えると、鉄道の北側に配置するのが望ましい
- ・補助230号線のそばに駅前広場を整備すれば、周辺への影響が最小限に抑えられる



## 高架下の利用

- ・日常の用事が駅周辺で済ませられるよう区の施設やスーパー等が整備できるとよい
- ・石神井公園駅のように南北を行き来できる通路が高架下でつながっていることが理想
- ・鉄道立体化等で既存の自転車駐車場がなくなってしまうので高架下を活用すべき